

CCKM

操作性の高い GUI を採用した IP-KVM エクステンダー KE シリーズ製品用管理設定ソフトウェア

CCKM は、IP-KVM エクステンダー KE シリーズ製品用の有償版 IP-KVM マトリックス マネジャーです。このソフトウェアは操作性の高い GUI を採用しているので、KE シリーズ製品を簡単に統合管理することができます。

CCKM は、ATEN ジャパンの Web ページからダウンロード可能な無償版のソフトウェアであるライセンスフリー版に搭載の機能以外に、USB ライセンスキー機能が追加され、デバイスラインセンス数が無制限であるため、将来的な拡張にも柔軟に対応可能です。さらに、最大 12 × 12 (モニター 144 台) のビデオウォール表示にも対応しているので、リモートでの中央監視を容易に実現できます。

CCKM を導入することで、マルチディスプレイ機能、プロファイルの一斉送信機能やサーバー冗長化機能等の多彩な機能を利用して、IT 管理作業の効率や安全性、信頼性をさらに向上させることができます。

※ CCKM のダウンロードには、eservice でのユーザ登録と購入した KE シリーズ本体の製品保証登録が必要となります。CCKM をインストールした直後はライト版で動作し、ライセンスキーによる機能解除をする则有償版として動作いたします。

※ サーバーの冗長化を設定するには、プライマリサーバーとセカンダリサーバーの両方に CCKM USB ライセンスキーをインストールする必要があります。



□ ポイント

1. 複数のデバイス管理が簡単に

直感的で操作性の高い Web ブラウザベースの GUI を採用。離れた場所にある複数のデータセンターやオフィス内のサーバーへのアクセスや統合管理が簡単に実現。さらに、多言語にも対応しているので、ユーザーのトレーニング時間を短縮し、作業効率を向上させることも可能。

2. ビデオウォール表示機能搭載で、複数のサーバーの中央監視が離れた場所でも可能に

複数のトランスミッターを選択し、そのトランスミッターから複数のユーザーステーションへ送信された映像を 1 箇所にビデオウォール表示させることができるので、複数のサーバーの中央監視システムを容易に構築可能。

3. ユーザー毎に操作権限を設定可能

IP-KVM マトリックス マネジャーおよび KE シリーズのトランスミッターとユーザーステーションの操作権限を設定することで、セキュリティの向上が可能。外部認証では、LDAP、Active Directory、RADIUS および TACACS+ に対応。

4. 冗長化により、万一のサーバーダウン時もバックアップが可能

マスター/スレブ方式により、リアルタイムでのデータベース更新を行う冗長化が可能。この機能を有効にすると、万一、マスターサーバーがダウンした場合でも、自動的にスレブサーバーを使用できるので、機能や情報が失われることなく、必要な管理業務を続けることができます。

5. トラブルシューティングやトラブルの分析が容易に

Eメールによるイベント通知機能に加え、検索が容易なログ機能によるイベントの検索やフィルタリングを行うことで、迅速なトラブルの分析や解決が可能に。ログは、エクスポートすることも可能です。

□ 特長

- ATEN IP-KVM エクステンダー KE シリーズの製品を統合管理する IP-KVM マトリックス マネジャー
- ATEN マトリックスリンク - CCKM 配下にある IP-KVM エクステンダーをどこからでも iPad で遠隔管理できるライセンスをユーザーに付与
- ビデオウォール表示対応※ - 最大 12 × 12 (モニター 144 台) ビデオウォール表示により、リモートでの中央監視が容易に実現
- 高度なスケジューリング機能 - メディア再生を日時指定することで効率を上げると同時に運用コストを削減
- 最大 4 組の IP-KVM エクステンダーの映像をグループ化できるため、マルチディスプレイのシステムに対応可能
- 操作性が高く、多言語に対応した Web ベースの GUI により、設定が簡単、ユーザーのトレーニング時間の短縮および作業効率の向上を実現
- KE シリーズのトランスミッターとユーザーステーションは、1 対 1、1 対多、多対 1、多対多に対応
- IP-KVM エクステンダーのアクセスと操作に関して、ユーザーおよびグループ単位での権限設定が可能
- アドミニストレーターは、ユーザー毎に操作権限を設定可能
- フェイルオーバーサービス - サービスの可用性を高めるためにプライマリとセカンダリアーキテクチャでフェイルオーバーを提供。システムの冗長性を高め

るために1台のプライマリと最大5台のセカンダリサーバーが使用可能。

- ・デバイスの状態やシステムログを簡単に参照できる GUI ダッシュボード
- ・接続の冗長性 - 元の Tx との接続が解除された後、自動的に別のトランスミッター (Tx) に接続し、サーバーへの常時アクセスを確保
- ・認証ロック - 電源オフ後、システムの電源が再開されたときに自動的にログイン
- ・マルチプラットフォーム対応 - Windows^{※3}、Linux
- ・マルチプラットフォームクライアント対応 - Windows、Mac OS X、Linux、Oracle 社 SPARC(Sun)
- ・マルチブラウザ対応 - IE、Chrome、Firefox、Safari
- ・コマンドの一斉送信に便利な接続方法を保存できるプロファイル機能
- ・ユーザーのアカウント認証および管理が可能
- ・内部認証、外部認証の両方高度なセキュリティ機能を提供 - 対応外部認証は LDAP、Active Directory、RADIUS および TACACS+ 対応
- ・システムログは、フィルターおよびエクスポート機能対応
- ・設定したシステムイベントの発生を E メールにて通知
- ・トランスミッターとユーザーステーションの切替速度を向上
- ・SNMP エージェント / SNMP トラップ：特定の条件が発生したときや、SNMP マネージャーから緊急要請があったときに自動的に SNMP 警告メッセージを発信

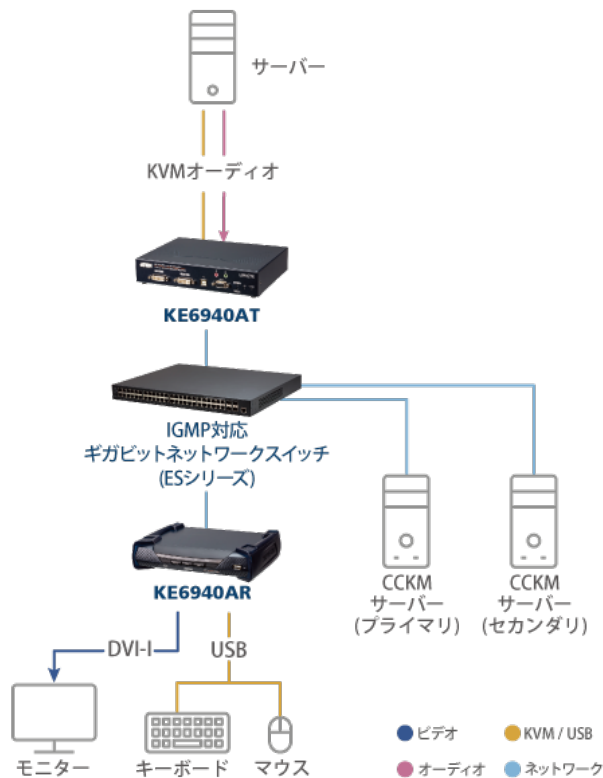
※ KE6940 デュアルディスプレイモデルの注意点：KE6940をビデオウォールでご利用する場合、プライマリーDVIポートのみビデオウォールが有効です。
セカンダリーDVIポートはビデオウォールを組む事は出来ません。

*1 ユーザーステーションやトランスミッターを複数使用する場合は、ユニットの追加購入が必要となります。機器構成の詳細については販売店までお問い合わせください。

*2 1対多、多対1、多対多で使用する際には、データスループットの低下を防ぐためにIGMP対応のネットワークスイッチをご利用ください。

*3 Windows11などのクライアントOSは仕様として予告の無い自動アップデートに伴うOS再起動があり、アップデート時は当製品が利用できなくなる原因となります。そのため連続稼働を必要とするシステムの場合はWindowsServerなどサーバーOSでご利用ください。

□ 構成図



□ 仕様

プロセッサ	Intel® または AMD プロセッサ 1 GHz 以上
システムメモリー	必要メモリー容量：2 GB 以上
必要ディスク容量	16 GB 以上
ネットワーク転送速度	1000Mbps 以上
対応 OS	Windows : Windows 11 または Windows Server2022 Linux : RHEL6.8 以降または CentOS6.8 以降 64 bits ※ Windowsでは32 bit版の、Linuxでは32 bit版または64bit版の Java/バージョン8アップデート202のインストールが必要です。 ※ 24時間/365日連続稼働するシステムに導入する場合は Windows Server2022の利用を推奨します。
動作環境	
動作温度	0 ~ 40℃
保管温度	-20 ~ 60℃
湿度	0 ~ 80% RH、結露なきこと
ケース (有償版 USB ドングル)	
ケース材料	メタル、プラスチック
重量	0.01 kg
サイズ (W × D × H)	83.6 × 27.8 × 13.9 mm

□ ライセンスフリー版との比較

機能	IP-KVM マトリックスマネージャー	
	CCKM	ライセンスフリー版
費用	有償	無償
デバイスライセンス数	無制限	8 (トランスミッターとユーザーステーションの合計数)
ビデオウォール表示 [※]	○ (最大 8 × 8、64 台のモニターへ表示可能)	○ (表示可能なモニター数はデバイスライセンス数による)
ユーザー管理	○	○
操作権限設定	○	○
ダウンロード対応	× (CD での提供)	○ (ATEN ジャパン Web サイトより)
ライセンスキー	○ (USB またはバーチャル)	×
冗長性	○	○

※ KE6940 デュアルディスプレイモデルの注意点：KE6940をビデオウォールでご利用の場合、プライマリーDVIポートのみビデオウォールが有効です。セカンダリーDVIポートはビデオウォールを組む事は出来ません。

